

## 第1号議案 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日より令和4年3月31日迄)

### 1. 郷土芸能に関する発表会の開催

#### (1) 第1回オンライン全国地芝居サミット in 山形鮭川: 令和3年8月22日(日)

2015年以来開催出来ていない「全国地芝居サミット」を、全郷芸事務所(東京都港区)と鮭川歌舞伎保存会(山形県鮭川村)の共催とし、双方の会場をオンラインでつないで開催した。内容は事例報告とディスカッションを行った。広く一般に広報し、視聴者は約100名。

<次第>

- 開会のことば 鮭川村 元木洋介村長
- 地芝居サミットについて 城井智子(全郷芸常務理事、全国地芝居連絡協議会副議長)
- 山形県の地芝居 菊地和博(東北文教大学特任教授)
- 事例報告① 鮭川歌舞伎保存会(山形県鮭川村)
- 事例報告② 黒森歌舞伎保存会(山形県酒田市)

<協力・出演>

- 地芝居ポータル(蒲池卓巳、北河直子、館野太朗)

#### (2) 文化庁「子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業

～シシになるウマになるふるさと東京の郷土芸能体験～: 令和4年1月23日(日)

本事業はコロナ禍で伝統文化に触れる機会が減少した子供たちに体験機会を回復する事業を採択する文化庁の公募事業である。当協会は採択を受けて、首都圏の子供や保護者が、首都圏の郷土芸能を体験することを通して、生活する地域への誇りや愛着を促進させることを目的に開催した。

事前に募集された親子の郷土芸能ワークショップでは、地域に育まれた踊りの表現、また道具・衣裳の作り方を通し自ら作り出す喜びや楽しさを体感。コロナ対策としてオンライン講座なども行った。1月23日公演当日は、4団体の郷土芸能を上演。一般来場者も参加して、ワークショップを修了した子どもたちの成果発表も行った。

#### 【事前ワークショップ】

令和3年12月12日(日)「獅子舞ワークショップ」講師: 田楽座、会場: 荒馬座民族芸能センター

令和3年12月19日(日)「荒馬踊りワークショップ」講師: 荒馬座、会場: 荒馬座民族芸能センター

令和4年1月8日(土)「オンラインワークショップ」講師: 田楽座、荒馬座

○公演期日: 令和4年1月23日(日) 13時30分～16時30分

○会場: イイノホール(東京都千代田区内幸町)

○出演団体: 八王子車人形西川古柳座(東京都八王子市)、目黒流貫井囃子保存会(東京都小金井市)、民族歌舞団荒馬座(東京都板橋区)、まつり芸能集団 田楽座(長野県伊那市)

○入場者: 136名

### 2. 指導者、保存団体の育成

○郷土芸能振興支援プロジェクト

「郷土芸能振興支援プロジェクト」として、被災や少子高齢化等で継承が困難な芸能団体への支援金の寄附を募った。

### 3. 情報の収集及び提供

(1) 情報収集及び提供

○メールマガジン「祭と民俗芸能」をNO. 201(令和3年5月27日)からNO. 207(令和4年2月21日)ま

で合計7号を発行した。講読者数は264名。(2008年1月より)

○公式 Twitter にて、令和3年4月18日から令和4年2月12日まで、合計105の情報配信を行った。購読者は2022年3月現在、831名。(2011年2月より)

○公式フェイスブックにて、令和3年5月26日から令和4年3月31日まで、合計27の記事を発行した。購読者は2022年3月現在、696名。(2016年4月より)

## (2)会報発行

第103号から第106号まで発行した。

- 第103号 令和 3年 4月25日 発行(20頁)
- 第104号 令和 3年 7月 5日 発行(20頁)
- 第105号 令和 3年 10月25日 発行(20頁)
- 第106号 令和 4年 1月 7日 発行(20頁)

## (3)映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム・ビデオライブ『すごい民族誌映画がみたい！』」

郷土芸能を中心とした映像の上映会やディスカッションを通じて、郷土芸能へ理解を深め、サポートする層の増進を図ることを目的として開催してきた「郷土芸能ストリーム」を、2021年度から、エトノスシネマ(運営:株式会社ヴィジュアルフォークロア)との共催で「すごい民族誌映画がみたい！」とし、埋もれがちな映像のアーカイブと活用を目的に、オンラインとリアルハイブリッドで開催した。なお、全郷芸会報連載記事「この民族誌映画がすごい！」(ヴィジュアルフォークロア遠藤協氏)のアウトリーチイベントとして企画した。

### ○第1夜「修験の芸能」

期日・場所:令和3年6月30日(水) 19時30分～21時・全郷芸事務所からオンライン配信

内容:ドキュメンタリー映画『修験 羽黒山秋の峰』(北村皆雄監督)を事前に視聴してもらい、当日オンライントークイベントにゲストを招いて配信した。一般に映画とトークのセットを有料で販売し、視聴者(会場参加含む)は100名。

<ゲスト>順不同・敬称略

- ・北村皆雄(映画監督、株式会社ヴィジュアルフォークロア代表)
- ・大内典(宮城学院女子大学教授)

### ○第2夜「ナガのドラム」

期日・場所:令和3年10月20日(水) 19時30分～21時・太鼓館(賛助会員・宮本卯之助商店)からオンライン配信

内容:ドキュメンタリー映画『ナガのドラム』(井口寛監督)を事前に視聴してもらい、当日オンライントークイベントにゲストを招いて配信した。一般に映画とトークのセットを有料で販売し、視聴者(会場参加含む)は42名。

<ゲスト>順不同・敬称略

- ・井口寛(監督、録音技師)

### ○第3夜「見えないものを撮る！一鳥の道からツチノコまで」

期日・場所:令和4年2月9日(水) 19時30分～21時・全郷芸事務所からオンライン配信

内容:ドキュメンタリー映画『鳥の道を越えて』(今井友樹監督)を事前に視聴してもらい、当日オンライントークイベントにゲストを招いて配信した。一般に映画とトークのセットを有料で販売し、視聴者(会場参加含む)は27名。

<ゲスト>順不同・敬称略

- ・今井友樹(記録映画監督、工房ギャレット代表)

#### 4. 国際交流事業

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京の主催事業である「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」の一つとして採択された「世界無形文化遺産フェスティバル2020」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため、継続事業として改めて、令和3年度に現地調査の報告会を企画し、開催した。内容は五大大陸六か国の芸能紹介と東北三県と東京都の芸能披露、そして有識者による世界無形文化遺産の重要性とその魅力を発信するフォーラムを以下の通り開催。東北三県はコロナの感染拡大で映像出演となった。

期日：令和3年8月1日(日)

会場：ヒューリックホール東京(千代田区有楽町)

【レポート】古今東西で紡ぎ、つながる“歌と踊り”：五大大陸六ヶ国の芸能

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| ①「ガゴの伝統舞踊 サマン」   | インドネシア共和国    |
| ②「セトレーロ セトの多声歌唱」 | エストニア共和国     |
| ③「エチオピアの民族芸能」    | エチオピア連邦民主共和国 |
| ④「トンガの歌と踊り ラカラカ」 | トンガ王国        |
| ⑤「東ブータンのヤクの踊り」   | ブータン王国       |
| ⑥「ガリフナ民族の歌と踊り」   | ホンジュラス共和国    |

【実演/映像出演】“大地”に舞う！若き担い手たち：東北三県と東京の芸能

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| ⑦「仰山流笹崎鹿踊」      | 岩手県大船渡市 |
| ⑧「秋保の田植踊」       | 宮城県仙台市  |
| ⑨「じゃんがら念仏踊り」    | 福島県いわき市 |
| ⑩「東京の太鼓」大江戸助六太鼓 | 東京都     |

【トークセッション】芸能は“歓びと祈り”でできている - 私たちが出会った世界の歌と踊り

- |         |                              |
|---------|------------------------------|
| ○モデレーター | 久保田裕道(東京文化財研究所無形文化遺産部、全郷芸理事) |
| ○ゲスト    | デーモン閣下(アーティスト)               |
|         | 竹内海南江(リポーター・ミステリーハンター)       |
|         | 大石 始(ライター)                   |

#### 5. 顕彰

令和2年6月26日(金)の令和2年度総会において、入会10年継続と5年継続の団体会員5団体に感謝状を贈呈した。また、郷土芸能の保存振興に尽力されている11団体に特別表彰を行った。

#### 6. 郷土芸能の振興発展

##### (1) 三陸国際芸術祭2021(サンフェス)

東日本大震災被災地の三陸地域の復興と郷土芸能の発信を目的に、三陸地域の郷土芸能と現代アート、アジアの民族芸能を招聘し、公演と交流を行う事業として2014年から毎年開催。三陸国際芸術推進委員会、国際交流基金アジアセンター主催、全郷芸は共催。「三陸国際芸術推進委員会」は、三陸地域の地方公共団体や民間団体が連携し、国際的な視野に基づいた郷土芸能・文化芸術活動の推進を図るために平成30年11月に設立され、推進委員に星野理事長、運営委員に小岩常務理事が就任した。全郷芸は「三陸芸能マッピング事業」のリサーチディレクター業務を受託した。また、鑑賞・体験・交流の各プログラムを実施予定だったが、コロナ禍で多くが中止となった。全郷芸が関係して実施した主な事業は以下の通り。

○アジア×三陸「ふえ Lab」オンラインセッション・トークセッション

期日・場所：令和3年12月17日(金)～12月18日(土)・岩手県大槌町、12月19日(日)・青森県八戸市の各会場とカンボジア、インドネシア、香港とのオンライン

内容:三陸のえんぶり(八戸市)、虎舞(大槌町)、七頭舞(岩泉町)と、カンボジア、インドネシア、香港の芸能団体が、三陸の民話を題材にしたコラボレーション作品『髪長姫』を創作、発表する芸能交流プロジェクト「ふえ Lab」の成果を、オンラインで語り合い、交流セッションを行った。

○シアタープロジェクト八戸

期日・場所:令和4年3月13日(日)・青森県八戸市 八戸ポータルミュージアムはっち

内容:これまでの三陸国際芸術祭を振り返り、震災後の10年とこれからの三陸の可能性を模索するシンポジウムと、八戸の芸能の披露を行った。

(2)「郷土芸能探訪」連載記事掲載

大学教育をメインとした冊子「文部科学教育通信」(月2回発行)に全国各地に伝わる郷土芸能を毎回1つ取り上げる「郷土芸能探訪」を昨年度から引き続き、第53回(令和3年4月12日)から第72回(令和4年3月28日)に掲載した。星野紘氏(当協会理事長)監修のもと執筆者を選任した。

(3)「カナガワ リ・古典プロジェクト」

神奈川県ゆかりの伝統芸能の魅力を、新発想で再(Re・リ)発信する「カナガワ リ・古典プロジェクト」。今年度は神奈川県小田原市で開催。神奈川県内の県西地域の民俗芸能を中心に紹介する。令和4年1月23日(日)小田原三の丸ホール(市民ホール)大ホールにて、民俗芸能の上演および撮影(映像制作)を実施した。出演は、相模人形芝居(下中座)、小田原囃子(小田原囃子多古保存会)、日本舞踊・唄・三味線等(箱根湯本芸能組合)、箱根の湯立獅子舞(宮城野獅子舞保存会)の4団体。

全郷芸はアドバイザーとして芸能監修などを行った。主催はかながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト実行委員会。インターネット上での「カナガワ リ・古典プロジェクト公式チャンネル」で動画配信されている。

(4)Hibiya Festival 2021「三陸芸能おどり」

東京ミッドタウン日比谷を中心に2018年から開催されてきた観劇の祭典「Hibiya Festival 2021」において、2021年度は東日本大震災被災地の郷土芸能に関連する公演企画「三陸芸能おどり」が企画された。

全郷芸は、首都圏で東北被災地にルーツを持つ芸能団体とアーティストの交流による作品制作のマッチングと、5月15日(土)に行った映像収録(コロナ緊急事態宣言によって映像収録に変更)への協力を行った。

(5)岩手県令和3年度民俗芸能団体交流推進事業

「岩手県民俗芸能フェスティバル」に出演する岩手県外団体と交流を図ることにより、民俗芸能に携わる若い世代の誇りや意欲を高め、活動の更なる活発化につなげるため、岩手県外の民俗芸能に取り組む団体と、本県の民俗芸能団体との交流の機会を創出することを目的とした岩手県の委託事業。令和4年1月16日(日)に長崎獅子舞(東京都豊島区)の派遣を行った。

(6)「多文化共生プロジェクト2021～カラダでつなぐ、ASIA」

国際交流基金アジアセンターの委託事業として「多文化共生プロジェクト～カラダでつなぐ、ASIA」を行った。内容は以下のような日本で生活する海外の在住者の日本語学校と郷土芸能の団体をつなぎその芸能に触れるワークショップを行うもの。郷土芸能は「松山踊り」(岡山県高梁市)と「京都の六斎念仏」(京都市)。

○「松山踊りワークショップ」(ライブ)

期日:令和3年12月19日(日)講師:松山踊り 踊りフレンズ、参加者:岡山県高梁市日本語教室の生徒

○「京都の六斎念仏ワークショップ」(オンライン)

期日:令和4年1月10日(月・祝)講師:京都中堂寺六斎会、参加者:京都市の日本語教室の生徒

※1月30日(日)同じくオンラインで青森県南部町の日本語教室と準備していたがコロナで中止となった。

## 令和3年度事業報告の付属明細書

### 1. 役員等に関する事項(令和4年3月31日現在)

<理事> 定数 14人～20人 任期 2年 現在数 常勤 2人 非常勤 13人	<監事> 定数 3人以内 任期 4年 現在数 常勤 0人 非常勤 2人
---	---

役職名	氏名	常/非常勤	任期	現職名(元職名)	当初就任日
理事長	星野 紘	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	東京文化財研究所 名誉研究員	平成 23.6.18
専務理事	森下 春夫	常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(公社)全日本郷土芸能協会 事務局長	平成 9.6.7
常務理事	城井 智子	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(公社)全日本郷土芸能協会 常務理事	平成 7.5.24
常務理事	小岩 秀太郎	常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(公社)全日本郷土芸能協会 会事務局長次長	平成 29.6.10
常務理事	中坪 功雄	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(一社)日本イベント協会理事	平成 7.5.24
理事	秋田 吉博	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	京都中堂寺六齋会会長	令和 1.6.15
理事	岸邊 和夫	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	一級建築士	令和 3.6.12
理事	佐々木 昌幸	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	有福神楽保持者会	令和 1.6.15
理事	菅原 晃	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	鬼柳鬼剣舞庭元	平成 25.6.8
理事	瀬沼 亨	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	八王子車人形家元	平成 11.6.12
理事	高橋 裕一	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	獅子博物館館長	平成 23.6.18
理事	新沼 裕道	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長	平成 25.6.8
理事	円尾 安子	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	さぬきばやし保存会家元	平成 25.6.8
理事	宮本 芳彦	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	(株)宮本卯之助商店社長	平成 25.6.8
理事	山口 清文	非常勤	令和 3.6.12～5.6.11	全国地芝居連絡協議会 議長	平成 21.6.20
監事	星野 敬太郎	非常勤	令和 1.6.15～5.6.14	上三原田歌舞伎舞台 伝承委員会	平成 21.6.20
監事	山本 正実	非常勤	令和 1.6.15～5.6.14	小鹿野歌舞伎保存会 副会長	令和 1.6.15

### 2. 職員に関する事項(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	常/非常勤	就任年月日	担当事務	備考
職員	西田 昌代	常勤	平成 16.4.1	一般事務	

3. 会議に関する事項

(1) 社員総会に関する事項

定款第4章第15条に基づく社員総会の報告

令和3年度定時社員総会

期日:令和3年 6月 12日(土)

会場:(公社)全日本郷土芸能協会事務所

出席数:177名(委任状含む)/総数304名

議案	第1号議案	令和2年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	令和2年度収支決算の承認の件	可決
	第3号議案	理事の選任に関する件	可決
	報告事項1	令和3年度事業計画の件	報告
	報告事項2	令和3年度収支予算の件	報告

(2) 理事会に関する事項

定款第6章36条に基づく理事会の報告

① 令和3年度第1回通常理事会

期日:令和3年 5月 23日(日)

会場:(公社)全日本郷土芸能協会事務所

出席数:11名/総数15名

議案	第1号議案	令和2年度事業報告の承認の件	可決
	第2号議案	令和2年度収支決算の承認の件	可決
	第3号議案	理事の選任に関する件	可決
	第4号議案	令和3年度定時社員総会招集について	可決
	第5号議案	新入会員承認の件	可決
	第6号議案	令和3年度表彰の件	可決
	第7号議案	令和3年度臨時理事会の開催について	可決
	報告事項1	業務執行理事の業務執行報告	報告
	報告事項2	令和2年度退会会員	報告

② 令和3年度臨時理事会

期日:令和3年 6月 12日(土)

会場:(公社)全日本郷土芸能協会事務所

出席数:12名/総数16名

議案	第1号議案	代表理事(理事長)、専務理事及び常務理事の選定の件	可決
----	-------	---------------------------	----

③ 令和3年度第2回通常理事会

期日:令和4年 3月 5日(土)

会場:(公社)全日本郷土芸能協会事務所

出席数:13名/総数15名

議案	第1号議案	令和4年度事業計画の承認の件	可決
	第2号議案	令和4年度収支予算の承認の件	可決
	第3号議案	資金調達及び設備投資の見込みについて	可決
	第4号議案	役員報酬について	可決
	報告事項	業務執行理事の職務執行報告	報告

#### 4. 社員の異動状況

社員種別	令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在	増減数	摘要
団体会員	215	212	-3	
個人会員	93	90	-3	
賛助会員	10	10	±0	
ユース会員	0	1	+1	

#### 5. 令和3年度後援名義使用承認事業

##### 3全後第1号(令和3年 4月1日承認)

名 称 第32回都筑太鼓公演  
 期 日 令和3年 11月 6日(土)  
 主 催 特定非営利活動法人横浜都築太鼓

##### 3全後第2号(令和3年 5月18日承認)

名 称 「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業 第3回『神座 神々への舞』  
 期 日 令和3年 9月25日(土)26日(日)  
 主 催 「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会

##### 3全後第3号(令和3年 5月20日承認)

名 称 オリエンタル舞踊とアラブ音楽の魅力  
 期 日 令和3年 9月11日(土)  
 主 催 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団

##### 3全後第4号(令和3年 6月30日承認)

名 称 令和3年度三条市指定文化財指定記念企画展「中浦歌舞伎の世界」  
 期 日 令和3年 7月22日(木・祝)～8月29日(日)  
 主 催 三条市

##### 3全後第5号(令和3年 7月12日承認)

名 称 令和3年度鮭川歌舞伎土舞台特別公演  
 日 時 令和3年 9月19日(日)  
 主 催 鮭川歌舞伎土舞台特別公演実行委員会

##### 3全後第6号(令和3年 7月28日承認)

名 称 後継者育成発表会「秋の子どもみちのく芸能まつり 2021」  
 期 日 令和3年(2021年) 9月19日(日)  
 主 催 北上市民俗芸能協会

3全後第7号(令和3年 7月 5日承認)

名 称 「イザイホーと映像の時代」連続上映&トーク  
期 日 2021年7月から12月にかけて、月1のペースで連続講座を開催(全6回予定)  
主 催 エトノスシネマ(企画運営:ヴァジュアルフォークロア)

3年全後第8号(令和3年 8月30日承認)

名 称 第29回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会かごしま・きりしま」  
期 日 2021年 10月9日(土)～10日(日)  
主 催 第29回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会かごしま・きりしま」  
実行委員会、鹿児島県、鹿児島市、霧島市、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、

3全後第9号(令和3年 10月12日承認)

名 称 Jazz-Bunraku 涅槃(ねはん)に行った猫  
期 日 2022年2月27日(日)神奈川県立青少年センター、3月6日(日)小田原三の丸ホール  
主 催 ジャズ文楽涅槃に行った猫 実行委員会

3全後第10号(令和3年 10月26日承認)

名 称 鬼よ燃えろ! 冬の<sup>みちのく</sup>芸能まつり part12  
期 日 令和4年(2022年) 1月23日(日)  
主 催 北上市民俗芸能協会

3年全後11号(令和3年 11月2日承認)

名 称 秋川歌舞伎発祥120年記念公演  
期 日 令和4年 1月8日(土)  
主 催 秋川歌舞伎保存会

3全後第12号(令和3年 12月16日承認)

名 称 第33回都筑太鼓公演  
期 日 令和4年 6月 4日(土)  
主 催 特定非営利活動法人 横浜都筑太鼓

3年全後第13号(令和4年 1月12日承認)

名 称 第16回登米市民俗芸能大会  
期 日 令和4年 2月 6日(日)  
主 催 登米市民俗芸能協会、登米市教育委員会

3全後第14号(令和4年 2月1日承認)

名 称 令和3年度三条市指定文化財指定記念イベント「地歌舞伎を知る・観る・楽しむ」  
期 日 令和4年 3月19日(土)  
主 催 三条市